

DX化支援研修サービス

生成AI定着編

ADOPTION OF GENERATIVE AI

「AIを使いこなす組織」へ！

進化し続ける生成AIと手厚い助成金制度。
貴社がAI人材育成に舵を切る、またとないチャンスです。

DX SUPPORT TRAINING SERVICE

会社概要

会社名：株式会社MKI
所在地：〒102-0072
東京都千代田区飯田橋4-5-11
パール飯田橋ビル8階
事業内容：教育訓練事業
人材育成・営業支援コンサルティング
資本金：1億円
設立：1984年1月27日
URL：<https://mki-corp.jp>

ABOUT COMPANY

サービス概要（シリーズコンセプト）

「DX化支援研修サービス」シリーズは、DX・生成AI活用を「知る」段階から「現場で使える」段階へ、さらに「組織に定着」する段階まで、段階的に引き上げる研修シリーズです。各編は単体での導入も可能ですが、シリーズとして導入することで、「スキル習得 → 業務適用 → 組織浸透 → 定着運用」の流れを一気通貫で構築できます。



AI活用実践編

業務効率化編

生成AI社内浸透編

生成AI定着編

ChatGPT業務活用編

このシリーズで実現できること

本シリーズは、生成AIを安全に活用しながら業務を標準化・効率化して生産性を高め、個人の活用に留めず組織全体で再現・定着する運用まで実現します。



現場の生産性向上

業務のムダや手戻りを減らし、
標準化と効率化を実現



生成AIの安全運用

使いどころ・注意点・判断手順
を理解し、リスクを下げて活用



社内展開・定着

活用が一部の人で止まらず、
組織で再現できる運用に
落とし込み

ご利用企業

製造・小売・サービス・医療/介護など、幅広い業種の企業・団体にご導入いただいています。

AIは使っているけど
使いこなせているか不安



主に複数のAIツールの
掛け合わせについて学びます

最近、業務が忙しくて
他に手が回らなくなってきた



AIを使った業務効率化で、
時間とリソースを最大化します

現場で使えるAIスキルを
身につけたい



実践的なAIスキルを
短時間で習得し、即戦力に！

当社が選ばれる理由

理解しやすい内容構成

共感が持てるストーリーの採用により、AI活用のイメージが伝わり、実践で使える。

目的に応じて選べるコース

実務で活かせるスキル習得のため、目的別に最適コースを用意。

直感型LMS

多くの受講者様から直感的で分かりやすいと高く評価されており、安心して利用できる。

実務で活用できるAIを厳選

数多のAIから実務利用できるAIを厳選。AIの単体利用から掛け合わせた利用方法までを身につけられます。

本研修のストーリー部分の特徴

現場の「あるある」をストーリーで追体験し、失敗ポイントと改善の型を自分ごととして理解できる構成です。

構成の特長

飽きやすく実務に活かしにくい研修の課題を解消し、楽しみながら自然に応用力が身につく構成です。

従来の研修課題

内容が硬すぎる

頭に入ってこない

活用シーンを想像できない

当社のDX化支援研修サービス

興味喚起

類似体験

実体験

発見・想像

構成の工夫



生成AI定着編：実際の視聴画面

1章

生成AI定着編

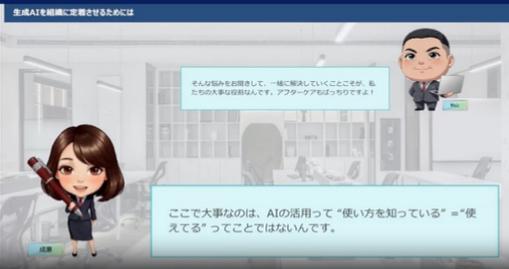
生成AIを組織に定着させるためには



生成AIを組織に定着させるためには

そんな悩みをお聞きして、一緒に解決していくことが、私たちの大事な役割なんです。アフターケアはばっちりですよ！

ここで大事なのは、AIの活用って“使い方を知っている”=“使えてる”ってことではないんです。



生成AIによる動画編集と仕事での活用術を学ぶ

重要なポイントをしっかりと理解して、安全な業務を。

01 02 03 04

動画化する一手前までの作業は、ほぼ完了です。



AIサポートによる定型業務自動化の仕組み

情報に標準をつけると Markdown	情報の構造はつきりして	AIが意図を正確に読み取る
<ul style="list-style-type: none"># : 大きなテーマ## : 小さなテーマ- : 項目の並び1. : 番号付きの項目の並び	<ul style="list-style-type: none">重要ポイントを正確につかめる情報のまとまりを理解できる指示の優先順位や関係性を読み取れる	<ul style="list-style-type: none">期待と実際の出力になりやすいやり直しや追加指示が減る顧客の品質、安定性が上がる

こちらの意図をAIに正確に汲み取ってもらえます。



生成AIによる動画編集と仕事での活用術を学ぶ

スマートAIのコールセンターの世界へようこそ！皆さんをお迎えします。

業務効率化のための活用術を学んでいきます。

音声認識の仕組み、音声合成の仕組み、音声認識の活用術、音声合成の活用術

音声認識の仕組み

音声合成の仕組み

音声認識の活用術

音声合成の活用術

私たちがジャンルを得意とし、共に楽しみたいと思います。

ナレーションの声をどこで差し込むか、



AIサポートによる定型業務自動化の仕組み

ChatGPT Gemini Notion slack

多くのAIツールや業務ツールが



生成AI定着編：AIの力で課題を解決するストーリー

本プログラムのポイント

① AI活用とビジネス基礎力が同時に身につく

- ・ ツールの使い方だけでなく、情報整理・会議運営・業務設計・思考法などの「仕事の基本」も並行して学べる構成。
- ・ AIスキルとビジネス基礎力が自然と結びつき、実務で成果につながる。

② 現場に“定着する”AI活用を学べる

どれだけ優れたAIでも、使われなければ意味がありません。本コースでは、「選ぶ・使う・育てる・定着させる」という一連の流れを理解し、現場で継続利用されるAI活用の仕組みづくりを習得できる。

③ 情報・業務を整理し、生産性を最大化する思考が身につく

Notionでの情報構造化や、自動化すべき業務の見極めなど、“仕組みで仕事を楽にする”能力を育てる。個人だけでなく、チーム全体の生産性向上につながる視点を習得。

④ AIを「安全に・賢く・戦略的に」使いこなす力が身につく

AIの仕組みや特性を理解し、適切な指示設計やリスク管理まで学べる。NotebookLMやChatGPTなど生成AIを“思考の相棒”として使いこなし、意思決定や創造的業務の質を高めることができる。

はじめに

本コースは、「生成AIを正しく理解し、業務に根付かせ、成果につなげる」ために必要な知識・スキル・思考法を、ストーリー形式の学習体験として習得できるよう設計された研修プログラムです。

単なるツールの使い方にとどまらず、

- ・ AIをどのように選び、使いこなし、育てていくか
- ・ 情報をどのように整理し、チームで共有し、生産性につなげるか
- ・ 自動化すべき業務をどう見極めるか
- ・ AIとの協働を通じて、どのように仕事を進化させていくか

といった、ビジネス現場で必ず必要となる思考とスキルを総合的に身につけられる構成になっています。また各章では、生成AIの活用と並行して、映像制作・会議運営・情報設計・業務設計といった仕事の基礎力も自然に伸ばせる内容となっています。

AIスキルとビジネス基礎力が同時に育つ設計により、現場で実践しやすく、即効性の高い研修です。

ゴール

本コースを修了することで、受講者は「AIを理解し、活かし、共に成果をつくる人材」へと進化します。さらに、仕事の進め方、情報整理力、コミュニケーション、自動化設計、思考の構造化といった業務の基礎力も総合的に向上し、部署・チーム全体の生産性向上と、継続的なAI活用文化の定着につながります。

本プログラムで学ぶAI

ChatGPT／NotebookLM／DALL・E／Gemini／Midjourney
Adobe Firefly／HeyGen／Sora／Suno／Voicepeak／Mapify
Napkin AI／イルシル／Canva／CapCut／Premiere Pro
Notta／Claude／tl;dv／NotionAI

生成AI定着編：各章で学べるAI

全6章構成，標準学習時間：約12時間20分，全動画 120日間見放題

1章

【章の目的】
最新の生成AIを活用した映像制作の基本を学ぶ。

【学べる事】
映像（動画・画像）を活用し、業務にどのように活かせるか、複数の事例とともに身につけることができる。

2章

【章の目的】
議事録系生成AIを正しく理解し、効果的に活用するための基本を学ぶ。

【学べる事】
議事録を作る目的含め、Nottaなどのツールを活用した効率化、AIの効果を最大化する方法を身につけることができる。

3章

【章の目的】
チームの生産性を「Notion」を活用して最大化するための情報活用方法を学ぶ。

【学べる事】
Notionを活用した情報をまとめてつなげる方法を理解し、チームの生産性を高める情報管理術を身につけることができる。

4章

【章の目的】
ChatGPTの実業務への定着方法とその業務設計方法を学ぶ。

【学べる事】
ChatGPT×業務の自動化（マクロ）を通じて、基本的な業務設計を、併せて自動化に伴うリスク管理を身につけることができる。

5章

【章の目的】
ChatGPTの仕組みと特性を理解し、思考を拡張するパートナーとして活用する方法を学ぶ。

【学べる事】
ChatGPTを正しく使いこなし、仕事を加速させる相棒へ育てるための考え方と活用スキルを身につけることができる。

6章

【章の目的】
NotebookLMを、自分だけのノートとして活用できるよう、セキュリティ面の説明をしっかりと加え、安心して活用する方法を学ぶ。

【学べる事】
NotebookLMの活用事例と、登録する資料によって回答がどう変わるかを理解し、将来的な活用イメージまで掴むことができる。

LMS機能付きプラットフォームについて

1. 直観的に分かりやすいデザイン

お客様からも「直観的に分かりやすい」という評価を多数いただいていますので安心です

2. 結果の管理

受講者ごとの学習進捗はもちろん、視聴日時の記録をCSVデータで出力が可能です

3. 飛ばし見防止機能付き

受講者にしっかり学んで頂くため、初回のみ飛ばし見防止が作動する設計です



修了証イメージ



プラットフォームイメージ

助成率・助成額について

助成金の活用：

厚生労働省の「人材開発支援助成金—事業展開等リスクリング支援コース」の申請が可能です。

研修費用の最大75%が助成金として支給されるため、実質的な費用負担が軽減
助成金を利用しない場合33万円/人（税別）



※大企業は最大60%の助成となります
(-198,000円)

ご契約から助成金入金までの流れ



NEXT STEPS

「AIを使いこなす組織」へ！
進化し続ける生成AIと手厚い助成金制度。
貴社がAI人材育成に舵を切る、またとないチャンスです。